

CABLE TESTER CT100

Professional 6-in-1 Cable Tester

1. 概要

CT100 をお買い上げいただきまことにありがとうございます。CT100 はケーブルとコネクターのチェックに欠かせないツールです。このツールを使うと、ミュージシャンが使用する市販のケーブルを完璧にチェックすることができます。故障したケーブルはライブでの使用などに際して、ストレス発生のもっとも多い原因の一つです。このようなストレスの原因を解消するため、マイクロプロセッサ制御のツールを開発しました。これによって、信頼できるケーブルチェックは誰にでもできる簡単な作業になりました。装置に付属しているベルトクリップは、快適さをさらに付け加えます。

2. ケーブルテスト・モード

◆ **ON スイッチを CABLE TESTER の 置に移動させてください。**

ケーブルのエンドを CT100 のお好みの OUT ジャックと接続します。これに並列にもう一方のケーブルエンドを IN ジャックの一つと接続します。ディスプレイ上の LED の点灯によって、どの入力ピンがどの出力ピンと接続されているかを確認することができます。XLR OUT ジャックのアースがプラグの Pin 1 (Ground/Shield) と接続されている場合には GROUNDED SHIELD-LED が点灯します。

2.1 接触不良箇所の発見と表示

現在ディスプレイ上に表示されている Pin 結線を保存するにはケーブルテスト・モード内で RESET を押します。RESET を押すと同時に Intermittent-LED が消灯します。この状態で、接触不良箇所の有無を調べるため、ケーブルのプラグコネクタ部を動かして見てください。装置が一つ以上のピンで触不良箇所が発見すると、対応する intermittent-LED が点灯します。RESET を押すと、LED は再び消灯します。再確認のために同じテストをもう一度繰り返します。Intermittent-LED の継続的な点灯は、接触不良箇所の発見によってディスプレイ上に現れる瞬間的な LED の点灯をはっきりと確認するために役立ちます。

3. 固定配線ないの短絡 (ショート) 箇所の発見

(スタジオなどの) 固定された配線ではケーブルの末端にしかアクセスできないという事がよくあります。このため、このような場合には「Installed Cable Tester Mode」モードでケーブルのチェックを行うことをお勧めします。

- ◆ **RESET ボタンを押したままで ON スイッチを CABLE TESTER ポジションに移動します: ON-LED が点灯し、CT100 がショートテスト・モード (「Installed Cable Tester Mode」) に切り替わったことを表示します。**

このモードでは、ディスプレイは出力ピン間の接続 (= ショート) だけを表示します。ケーブルテスト・モード (第 2 章参照) との違いは、このモードでは出力ピンと入力ピンの間の接続が表示されないことです。「怪しい」と思われるケーブルの末端を CT100 の適当な OUT ジャックに接続し、他の端はそのままにしておきます。ディスプレイ上の LED が一つも点灯しない場合には、ケーブル内にショート箇所が見つからなかったことをあらわします。

3.1 固定配線の導 状態をテストする

ケーブルの導 状態のテストの際には、2 つの出力ピンをわざとショートさせます。テストには、ショートさせたジャックをケーブルの自由端と接続します。ケーブル内を信号が 過 できる場合、ディスプレイにはショートしたピンが表示され、ディスプレイに何も現れない場合には、そのケーブルは導 していないことを示しています。

- ◆ **接触不良の発見はケーブルテスト・モード (2.1 参照) と同様に行ってください。**

4. テスト音声・モード

- ◆ **ON スイッチを TEST TONE の 置に動かします。**
- ◆ **テスト音声・モードは MIDI ケーブルには使用しないでください。**

CT100 のすべての OUT ジャックの「hot」ピンにはテスト音声 が出力されています。TEST TONE LEVEL スイッチで +4 dBu、

-10 dBV または -50 dBV (マイクレベル) の選択を行うことができます。テスト音声・モードでは信号の導 の状態と信号のレベルをチェックします。設定されたテスト音声はバッテリーの消費に伴って、理想的な信号レベルから相違する場合がありますことに注意してください。

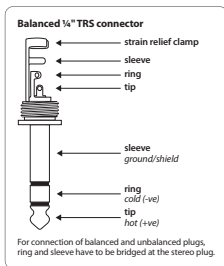
4.1 テスト音声の切り替え (1 kHz および 440 Hz)

CT100 がテスト音声モードに切り替わっている場合 RESET を押すと 1 kHz と 440 Hz との切り替えを行うことができます。TEST TONE-LED はこのとき選択された音声を表示します: 点灯 = 1 kHz、消灯 = 440 Hz。

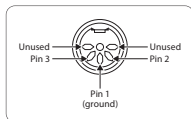
5. ファンタム電源の供給の有無

テスト音声モードでは CT100 はピン 2 とピン 3 に電源の外部供給が行われている稼動かを見地します。この電圧は 常、コンデンサーマイクへの供給電源として使用されます。PHANTOM LED 供給される電圧が約 9 ボルトを超えると点灯します。

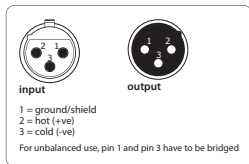
6. ケーブルの種類



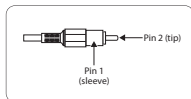
6.3 mm、3.5 mm & TT プラグ (ピン 3 は必ずしも使用する必要はありません。)



MIDI コネクター (ピン 2 本は使用されていません。)



XLR プラグ (ピンはコネクター上に表示)



RCA ピンコネクター

JP 安全にお使いいただく
ために

- 取扱説明書を通してご覧ください。
- 取扱説明書を大切に保管してください。
- 警告に従ってください。
- 指示に従ってください。
- 本機を水の近くで使用しないでください。
- お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
- 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。
- 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンブといった熱源から離して設置してください。
- 二極式プラグおよびアースタイプ（三芯）プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
- 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
- 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。
- カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。
- 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードまたはプラグが損傷した場合、本機内部に異物や水が入った場合、雨や水分で濡れた場合、本機が正しく作動しない場合、もしくは本機を落下させてしまった場合は、当社指定のサービス技術者に修理をご依頼ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TCElectronic、TCHelicon、Behringer、Bugera、Oberheim、Auratone および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。
© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

